

個人売買でローバーミニを購入する場合の車両確認どころ。 平成 20 年 9 月 17 日
(AOKIの個人的主観にて記載していますので、参考としてご覧下さい。)

最近ローバーミニを個人売買で購入した方々から車両のご相談を良く受けるようになりました。購入後の出費を抑える為に、内外装だけに気を取られず、購入前下記の点に注意して車両を確認してみたいかがでしょうか？ご自身で整備を楽しまれる場合はこの限りではありませんが。

走行させる・当たり前ですがエンジンがかかり、きちんと走行出来る状態か？

オイルと水の量・日ごろから点検されている車両はオイルも水も適量入っているはずですが。この時オイルの適度な汚れはさほど気にしなくても良いと考えています。

スティディーロットブッシュのガタ・エンジンを揺すってみて動きが大きくないか確認してみます。ここが整備されていない車両は大抵他の部分も整備が行き届いていないケースが多いので良く確認しましょう。

足回りのガタ・出来ればジャッキを持参してフロントタイヤのガタを確認しましょう。フロント部分をジャッキアップして、タイヤを上下左右に揺すって見ます。このとき大きなガタを感じるようであれば要注意です。ベアリングの交換やボールジョイントの調整をする場合でも左右で5万円~の出費となりますが、古い車両や走行距離の多い車両などではスイベルハブやCVジョイントがだめになってしまっているケースがあります。この場合出費は10万円ではすまない状態ですので…

マニュアルミッション・走行時3速までギヤを上げて3000rpm位から2速にギヤを落としてみます。このとき「ギィギィギィギィ」とギヤ鳴りがしてギヤが入り辛いような場合シンクロ不良の可能性が大きく、通常状態に修理する場合ミッションのオーバーホールが必要になります。通常状態でも高回転からシフトダウンではギヤ鳴りは機械的に起こりえますが、シンクロ不良の場合は極低速でも起こりますので、通常運転で確認できます。

ブレーキ・ブレーキマスターとサーボの間からオイル漏れを起こしていないかを確認します。サーボとのつなぎ目にオイル漏れによる塗装のはがれ等がある場合もありますが、以前オイル漏れを起こして修理されている可能性も有りますので、現状で漏れていないかを良く確認してください。又リザーブタンクとマスターシリンダーの間からの漏れも確認します。ここから漏れている場合はシリンダー内のゴムも劣化している可能性があります。これはゴムシール類を同じ期間使用しているからです。リヤブレーキの漏れや固着は多く見られますので購入時あまり気にせず、購入後お乗りになる前に専門店等で点検修理する事をお勧めいたします。

その他注意する点は沢山ありますが、良く整備されている車両は上記項目はしっかりしているはずですので。